

一般質問一覧表

順番	氏名	質問事項・質問要旨・答弁者
1	本間 真由美	<p>質問事項 小型救急車の導入について</p> <p>質問要旨 本市の既存集落には、道幅が4m未満の市道があり、道路周辺の環境によっては、更に道幅が狭くなっている市道もあるため、既存集落に住む市民から「救急車が自宅の前まで入れないのではないか」という不安の声を聞く。 市民の命を守るため、道幅が狭い道路でも安全に走行し、迅速な救急搬送が可能となる小型救急車の導入が必要であると考えているが、市として常総広域市町村圏事務組合と協議する考えはあるのか伺う。</p> <p>答弁者 担当部長</p>
		<p>質問事項 女性の再就職における支援について</p> <p>質問要旨 出産や育児・家族の介護等で離職した女性の中には、生活環境が整い再び社会で働きたいという意欲的な女性が存在する。現在、本市では女性が社会で働きたい場合に、どのような支援が行われているのか、現状を伺う。 また、再就職に向け検討を始めると、ブランクがあることに対する不安や、より安定した条件で働くために必要とされる専門スキルの習得等、大きな壁があると聞き及んでいる。資格を取得して再就職につなげたいが、受験料や研修料が高額な場合があり、家計を考えると躊躇してしまうという声もある。 子育て支援に力を入れている本市で育児をしてきた女性の中には、自身の経験を活かし、次は支える側として就業をしたいという方がいる。そこで、子育て支援事業に携わるための資格取得にかかる費用の助成を行うことについて、市の見解を伺う。</p> <p>答弁者 担当部長</p>
2	岡本 昌弘	<p>質問事項 対話型AIを活用した高齢者見守り体制の強化について</p> <p>質問要旨 ・本市における独居高齢者世帯数の直近の推移を伺う。 ・全国的に民生委員の高齢化や担い手不足等により、高齢者の見守り体制が課題となっている。特に、「人的リソースの不足」、「高齢者の心理的負担」という二面的課題に対し、市はどのように認識しているのか伺う。 ・本市においても、対話型AIを活用した「高齢者見守り電話サービス」を導入し、市職員や民生委員の負担軽減をしながら「次世代型の見守り体制」を構築すべきと考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>答弁者 担当部長</p>
		<p>質問事項 持続可能な航空燃料(SAF)の取組について</p> <p>質問要旨 ・国内では、家庭から出る廃食油のほとんどが捨てられている。リサイクルの観点から、「捨てるゴミだが、回収すれば資源」となる廃食油について、公共施設やスーパーなどに回収ボックスを設置する等、行政と民間が協力し、SAFの原料として回収することで、有効利用を推進すべきと考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>答弁者 担当部長</p>
3	マクキム 洋子	<p>質問事項 本市における「英語教育」の取組について</p> <p>質問要旨 本市では、幼児期から英語に慣れ親しむことができるよう、令和5年度から公立幼稚園にALT(外国語指導助手)を配置している。令和7年度からは、対象施設を公立保育所や市内の民間保育施設等に拡充し、英語教育の推進を図っている。 そこで、未就学児に対する英語教育の現状と今年度の評価を伺う。 また、それを踏まえ、教育課程特例校の本市の小中学校の児童生徒に対する英語教育の改善や新たな取組について伺う。</p> <p>答弁者 担当部長</p>
4	伊藤 正実	<p>質問事項 街灯(防犯灯、公園灯、道路灯)について</p> <p>質問要旨 今年も多くの方から声をいただいている街灯(防犯灯、公園灯、道路灯)の件であるが、昨年の私の一般質問後に、防犯灯の設置に関する要綱の改正がなされた。今後も整備を続けていくとのことであるが、現在までの進捗状況及び今後の計画、特に増設のペースについて、市の考えを伺う。</p> <p>答弁者 市長・担当部長</p>
5	前嶋 竜乃介	<p>質問事項 空き家の利活用による地域活性化について</p> <p>質問要旨 本市は、みらい平周辺が発展する一方で、既存市街地の活性化が急務である。空き家を「未来資産」と捉え、特に子育て世代へ利活用を促進してはどうか。 空き家の利活用は、市外からの転入促進に加え、市民の「住み慣れた地域で安心して暮らし続けたい」という思いに応えつつ、地域コミュニティの再生、地域活性化にも寄与すると考える。 空き家の利活用の促進のため、補助制度の拡充など、具体的な取組が必要であると思うが、市の考えを伺う。</p> <p>答弁者 担当部長</p>

一般質問一覧表

順番	氏名	質問事項・質問要旨・答弁者
6	飯村 裕一	<p>質問事項 本市での「働く場所」について</p> <p>質問要旨 本市は、TXの開通により都内や近隣県等へのアクセスが向上したため、交通の利便性から「働く場所」には、困らないように見える。また、市内には現在、整備が進められている工業団地もあり、今後は「働く場所」の選択肢も増える。そのため、「働く場所」について、本市の課題は、少ないようにも見える。しかしながら、多様な「働く場所」を市内に確保することにより、市民の働き方の改善や市外からの移住促進も期待できるため、深く考えるべきであると思う。この「働く場所」について、本市の考えを伺う。</p> <p>答弁者 担当部長</p>
		<p>質問事項 本市における「福祉」に関する考え方について</p> <p>質問要旨 本市は、第2次つくばみらい市総合計画で、まちづくりの基本理念として「市民一人ひとりが幸せを感じられるまちづくり」を掲げ、また将来像として「しあわせと笑顔あふれるみどりがつなぐ“みらい”都市」を掲げている。このような将来を実現するためには、「福祉」の充実が必要不可欠であると思う。まずは、本市が考える「福祉」について伺う。 また、義務教育課程において、「福祉」について、学び触れる機会が必要であると考えているが、どのように取り組んでいるのか伺う。</p> <p>答弁者 担当部長</p>
7	吉田 稔之	<p>質問事項 リチウムイオン電池対策及び代替となる次世代電池の普及推進について</p> <p>質問要旨 総務省消防庁の発表では、2024年におけるリチウムイオン電池による火災は、全国で982件であり、前年比で約1.3倍と増加傾向にある。常総環境センターにおける火災も、このリチウムイオン電池が出火原因とされている。本市におけるリチウムイオン電池に関わる対策の現状を伺う。 リチウムイオン電池のメリット・デメリットを考えると、次世代電池への切り替えを模索することが賢明である。リチウムイオン電池による火災の被害を受けた各自治体とも連携し、各方面に働きかけをするなど、次世代電池の普及推進の発信に取り組むことが望まれると考えるが、市の考えを伺う。</p> <p>答弁者 担当部長</p>
		<p>質問事項 トラクターにおけるロータリー爪交換の支援について</p> <p>質問要旨 本市の基幹産業である水田農業は、主に沖積土壌で栽培されている。そのため、耕うん作業に用いるトラクターのロータリー爪の摩耗が激しい。主に野菜が栽培される火山灰土壌と比べ、ロータリー爪の摩耗状況に違いがあるのか伺う。 農業資材費が高騰する中で、ロータリー爪も高騰し、ここ2年で約1.5倍と大幅に高くなっている。畝幅の広いロータリーほど、爪の本数も多くなり、経費負担が大きい。そこで、ロータリー爪交換費用の負担軽減のため、支援制度を設けてはと考えるが、市の考えを伺う。</p> <p>答弁者 担当部長</p>
8	中島 督仁	<p>質問事項 みらい平中学校開校に伴う通学路の安全対策と道路整備について</p> <p>質問要旨 みらい平中学校の開校により、生徒数増加による自転車通学者や送迎車両の増加が見込まれ、周辺道路や通学路の安全確保が重要となる。 開校を見据え、狭あい道路や歩道の未整備箇所、危険交差点に対する点検・改修工事等、具体的な安全対策が必要であると考えているが、短期及び中長期の道路整備計画について、市に伺う。</p> <p>答弁者 担当部長</p>
		<p>質問事項 温暖化の影響による雑草対策の強化について</p> <p>質問要旨 近年の温暖化の進行により、暖かい期間が長期化し、雑草の繁茂が急速に進んでいる。現行の草刈り・除草体制では、対応が追いつかず、通学路や道路の安全確保、公園等の良好な生活環境の維持が困難な状況である。 そのため、除草回数を増やす必要があると考える。また、市民から草刈機の貸出し、除草剤購入費の補助等の要望もあると聞けが、新たな支援策を含め、市の今後の対応方針を伺う。</p> <p>答弁者 担当部長</p>
9	松本 譲二	<p>質問事項 大規模地震発生時における被害想定及び備えについて</p> <p>質問要旨 ・大規模地震発生時における本市の被害想定について ・地震発生時における情報伝達手段、初動体制及び対応について ・地震発生時における地域の担い手との連携体制及び要配慮者への支援体制について</p> <p>答弁者 担当部長</p>

一般質問一覧表

順番	氏名	質問事項・質問要旨・答弁者
10	小林 芳子	質問事項 給食無償化開始に伴う本市の対応について 質問要旨 令和8年4月から、小学校の給食費を無償化する国の制度が開始される予定であり、国は、児童一人当たり月額5,200円を基準に自治体へ支援を行う。現在、本市の小学校給食費の保護者負担額は児童一人当たり月額3,700円であるが、保護者負担軽減のため、物価高騰分を一般財源からも補填している状況である。 1 今回の給食無償化を喜ぶ声がある一方で、給食の質や量の維持について慎重な意見も一部の保護者から寄せられている。国の基準額を超える部分は、引き続き保護者から給食費を徴収することも可能として、特色ある給食の提供に係る各関係事業も柔軟に活用可能としているが、子ども達の成長期を支えるより良い給食の提供について、市の見解を伺う。
		答弁者 担当部長
		質問事項 自主防災組織について 質問要旨 本市における、自主防災組織の設立状況及び活動状況について伺う。設立から年数が経過した組織では、役員の高齢化や資機材の老朽化などの課題も想定されるが、設立後の補助制度の在り方について伺う。 2 また、今後どのように自主防災組織と連携を行い、継続的な活動を支援する考えはあるのか、市の見解を伺う。
		答弁者 担当部長
		質問事項 絹の台地区にある公園の利活用の推進と再整備について 質問要旨 市民からの要望が多い、絹の台地区にある公園の更なる地域活性化に向けた利活用の推進について伺う。 3 また、若者から高齢者まで、多世代が集い交流できる居場所として、公園の再整備が必要であると考えている。そこで、テニス用の壁打ち施設やバスケットゴールの整備、また健康遊具や健康ベンチの整備、更に災害時に備え、防災機能の向上のため、かまどベンチ等の整備について、市の見解と今後の方針を伺う。
		答弁者 担当部長

通告議員10人 質問17問